

第 15 回管理型処分場環境安全委員会 追加資料

【追加資料】

- ・資料 1 特定廃棄物埋立処分事業の状況等について
- ・資料 2-1 環境モニタリング調査結果について（令和 5 年 4 月～9 月）
- ・資料 2-2 環境モニタリング調査の分析実施状況確認調査について
- ・資料 3 特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」について

- ・参考資料 1 特定廃棄物の埋立処分事業に係るモニタリング調査結果（令和 5 年 4 月～9 月）（案）

～ 追加資料の概要 ～

資料 1 特定廃棄物埋立処分事業の状況等について

- ・令和 6 年 2 月 1 日から 15 日にかけて、双葉郡 8 町村の生活ごみ（地盤改良用収納容器に封入）150 袋を下流側区画の南側に埋立処分し、下流側区画の廃棄物埋立作業は終了。令和 6 年度以降は、上流側区画で生活ごみの埋立てを予定。
- ・作業員の被ばく線量管理について、令和 4 年 11 月から令和 5 年 10 月までの 12 か月の集計を新たに追加。平成 29 年 11 月に開始した特定廃棄物の埋立期間約 6 年間を通して、作業員の被ばく線量は低いレベルに抑えることができた。
- ・輸送ルート/輸送車両の管理・運用について、令和 6 年度以降の搬入ルートについては、地元行政区並びに檜葉町の了解を得られたことから、資料 1 の 7 ページの図に示す赤線のルートとしたい。同ルート沿道において、引き続き、騒音・振動等のモニタリングを継続する予定。

資料 2-1 環境モニタリング調査結果について（令和 5 年 4 月～9 月）

- ・令和 5 年 4 月から 9 月の調査結果について、概ね過去の値の変動範囲内であり、特異的な変動を示すデータはなく、学識者による委員会（第 14 回アドバイザー委員会 令和 6 年 2 月開催）においても埋立処分施設の機能が維持できていると評価された。
- ・ヨモギの放射能濃度については、前・地点③、地点⑥が他の地点に比べやや高い値を示すが、埋立処分施設の影響ではなく、環境中の放射能濃度のバラツキの範囲内と考えられる。

資料 2-2 環境モニタリング調査の分析実施状況確認調査について

- ・今年度は環境モニタリング調査を受託する分析機関 2 社（受託分析機関、再委託先の分析機関）を対象に分析実施状況確認調査を実施した。いずれの分析機関も組織的な管理体制のもと分析がなされていた。更に分析精度を高めるための事項について各社に要望している。

資料 3 特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」について

- ・来場者数は令和 6 年 3 月 1 日時点で累計 78,569 名となった。
- ・今後も地域に根差した活動を実施していく予定。